

2016 年度の事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人まなびと

1 事業の成果

(1) 放課後学びスペースアシスト事業

- ・本事業は、以下 4 つを目的として展開した。①子供たちが安心できる場をつくる②子供たちと学びあう人が集う場所をつくる③皆が自ら学ぶ場所をつくる④人とのかかわりで多様な学びを得る場所をつくる
- ・上記 4 つの目的を実現するために、学園都市校・甲子園校・摩耶校・六甲校・魚崎校の 5 か所で教室運営を行った。
- ・学園都市校では、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間、週 1 回（毎週月曜日 18 時 30 分～20 時 30 分）、BRANCH 神戸学園都市内にあるまちづくりスポット神戸が運営するコミュニティールームにて教室を開いた。生徒 9 名（中学生 1 名、小学生 8 名）に対して、スタッフ 7 名で対応した。前期は「子どもたちが自ら本気になれるように」という理念のもと、子どもたちに多くの経験を届けること」、後期は「問題を解けるだけの能力があることに気づかずに、勉強ができないと感じている子どもに対して、勉強がわかる楽しさを伝え、自ら学ぶ姿勢をつくる。育ってきた環境の影響で人と交流する機会が少ない子どもに対して、周りの子どもたちと共に学び、考え、思いを共有できる場所をつくる」を目指して運営した。
- ・甲子園校では、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間、週 2 回（毎週月曜日・金曜日 18 時 30 分～20 時 30 分。4 月のみ週一回金曜日 18 時 30 分～20 時 30 分）、地域交流を目的とした住み開き型レンタルスペースであるまんまるみかんにて教室を開いた。生徒 8 名（高校生 1 名・中学生 6 名・小学生 1 名）に対して、スタッフ 4 名で対応した。前期は「生徒にとって、通うのが楽しみな教室をつくる」、後期は「学校の勉強に自分一人では積極的に取り組むことができず、また人との関わりから社会について学ぶ機会が少ない子供たちが、一人ひとりに合った勉強を通して自分なりの成果や成長を重ねることで勉強することの意味や楽しさを知るとともに、人との関わりの中での自分を見つめ、自主的に行動できる場を作る」を目指して運営した。
- ・摩耶校・六甲校では、二つのプロジェクトを統合し、以下 3 か所で運営した。平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日の間、週 2 回実施。（毎週火曜日 19 時～21 時・毎週木曜日 16 時 30 分～17 時 30 分、18 時 30 分～20 時 30 分）火曜日はあーとすぺーす童夢にて生徒 1 名（高校生 1 名）に対して、スタッフ 1 名で対応。摩耶学童保育所にて生徒 1 名（高校生 1 名）に対して、スタッフ 3 名で対応。木曜日はあーとすぺーす童夢にて生徒 1 名（小学生 1 名）に対して、スタッフ 2 名で対応。生徒 1 名（高校生 1 名）に対して、スタッフ 4 名で対応。なお、あーとすぺーす童夢では、2 名の障がいを持った子どもたち向けに個別で学習支援を実施した。前期は「生徒もスタッフも多人数で参加し、勉強だけでなく人との関わりがあるような教室を作る。そして、その中でスタッフがまける種、生徒がまける種を一緒に探す」、後期は「自分と周りの人との違いを消極的にとらえ、自分を出そうとしない子に対してスタッフが生徒の存在を受け入れる。その上で自身との違いをポジティブに伝えることで、自分と違う考え方の人について積極的に考えるようになり、その集団の外に出た時も、他人を受け入れ自分を出すことを楽しめるようになること」を目指して運営した。
- ・魚崎校では、平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日の間、週 2 回（毎週火曜日 16 時～17 時 30 分・金曜日・16 時 30 分～18 時）、東灘区子どもカフェにて生

徒3名（小学生3名）に対して、スタッフ4名で対応した。7月末日で参加する生徒がいなかったため閉校した。魚崎校では外国にルーツをもつ兄妹2名に対しても学習支援を実施した。

(2) アシスト甲子園 夏休み自由研究イベント

- ・アシスト甲子園校が地域の方々とつながること、新規の生徒募集を目的に企画した。イベント日が夏休み期間であったため、夏休みの自由研究として、フォトフレームと3Dメガネを作るイベントを実施した。
- ・開催日は平成28年8月5日。実施に当たっては地域とのつながりが強いクリエートにしのみやに協力していただいた。
- ・当日のみの広報となったが、15名の小学生が参加し楽しんでもらった。

(3) 神戸こども探険隊事業

- ・神戸北野エリアにて子どもたちが安心して学んだり遊んだりできる場所をつくることを目的に、平成28年8月1日～平成29年3月31日の間、週1回（毎週水曜日15時～19時）、北野地域福祉センターにて実施した。
- ・2015年度より連携を強化してきた北野婦人会や社会福祉協議会などの参加する地域福祉ネットワークとの協力のもと、神戸市からの補助を受けて無料（おやつ代は月額300円）で運営した。
- ・生徒10名（小学生10名）に対して8名のスタッフで対応した。
- ・教室内で宿題をしたり、子どもたちが自分たちで教室内のルール作りをしたり、遊びながら学べるコンテンツを実施した。

(4) 新歓イベント事業

- ・当法人の安定的なボランティアスタッフの確保と、既存の学生スタッフが事業の継続性に対しての意識を感じてもらうために新歓イベントとして当法人の紹介をするとともに新規スタッフの募集を行った。
- ・平成28年11月19日に生田川公園およびコミスタこうべにて実施した。
- ・午前の部、午後の部、夜の部の3セクションに分け、それぞれ町探検、学校の授業を模したコンテンツ、調理実習を外部参加者と既存の学生スタッフが交流し、午後の部では当法人についての説明をプレゼン形式で行った。
- ・延べ11名の外部からの参加者があり、その中から1名継続的な参加を決めるスタッフを獲得することができた。

(5) 学び方ゼミ事業

- ・当法人でボランティアスタッフとして携わっている大学生に対して外部より講師を招き、学び方についてと傾聴力についての話聞き、普段の活動におけるスキルアップを狙い実施した。セミナー後の座談会では講師、学生が交流しながら、活動する動機を共有し、課題について話し合う機会を設けた。
- ・12月29日に開催。MAP U 代表の杉本匡章氏を招き、王子公園まなびと事務所「まなびの樹」にてセミナー形式で実施した。

(6) 広島平和学習事業

- ・社会問題に対して理解を深めるために、大人を対象にして旅行ツアーという形を取り、1泊2日の日程で広島にて平和学習を行った。
- ・平成28年7月30日は現地のNPO法人のガイドの方を招いて、広島平和記念資料館、原爆ドーム、爆心地などに赴き、原子爆弾についてと被爆者の体験、その後の広島の復興などを学習した。夜には被爆者、遺族の方の声を広める活動をされている方を招き、実際の遺族の方の話聞きながら座談会形式で話し合

いを行った。

- ・7月31日は宮島に行き、厳島神社の見学など観光を含めて参加者と交流を図った。
- ・参加者は当法人のスタッフとして参加している大学生5名と、日本語教室だんらん事業に参加している外国人4名と事務局2名。

(7) 「教育」について考えるワークショップ

- ・兵庫、大阪で教育系の事業を運営しているNPO法人が集まり、これからの教育について意見交換をすることを目的に実施した。主催は大阪のNPO法人クレイシユ。

(8) 日本語教室だんらん事業

- ・日本語を学ぶことを通じて、日本人と外国人の国籍や文化、宗教といった枠を越えたコミュニティを形成することを目的として活動した。
- ・参加者の日本語レベルに合わせて、上級・中級・初級の3つのクラスに分かれて事業を実施した。
- ・平成28年4月1日～平成29年9月30日、週一回（毎週水曜日19時～20時30分）、三宮にあるトルコバーUMID（4月～7月）、北野地域福祉センター（8月～9月）にて教室を開いた。
- ・平成28年10月1日～平成29年3月31日、週二回（毎週月曜日・水曜日19時～20時30分）、月曜日は元町にあるバー「THE EMBER ROOM」（10月～11月）、王子公園まなびと事務所「まなびの樹」（12月～3月）にて、水曜日は北野地域福祉センターにて教室を開いた。
- ・生徒25名に対して、スタッフ20名で運営し、初級クラスでは、日本語の基礎から学びたいという日本に住む外国人を対象に、ひらがなや発音、文法などの基礎的な日本語を教えた。中級クラス、上級クラスでは、会話を中心に授業を行い、毎回トピックを決めてその話題について話したり、個別に日本語能力検定の試験勉強を教えたりした。また普段の生活の中で困っていることに一緒に対応するなど、参加者にとって居心地の良い場所を作ることを目指した。そのために、通常の運営だけでなく、月に一度、日本語文化について学べるイベント等を実施した。

(9) 日本語教室だんらんイベント事業

- ・日本語教室だんらんイベント事業では、①教室に参加する生徒との交流を深めること②新規教室参加者とのつながりづくり③日本文化を体験するといった3つの目的からイベントを開催。
- ・各イベントの趣旨、開催日程、開催状況などは「2. 事業の実施に関する事項」に記した通り。

(10) 日本語教室だんらん 芦屋大学講義事業

- ・日本語教室の一環として、芦屋大学にて日本語教育の講義を請け負う。
- ・平成28年10月～平成29年2月に実施。計136コマ（10月：54コマ、11月：24コマ、12月：26コマ、1月：16コマ、2月：16コマ）

(11) 日本語教室だんらん 個別授業事業

- ・日本語教室の一環として、インドネシア人1名に対して個別にて日本語教育の授業を請け負う。
- ・平成29年3月より実施。月曜日～金曜日9時30分～12時30分。王子公園まなびと事務所「まなびの樹」および北野学童予定地にて実施。来年度も継続予定。

(1 2) 「東遊園地こども探険隊」

- ・神戸三宮にある東遊園地の市民利用を考える都市実験「URBAN PICNIC」に参加という形で実施。
- ・平成 28 年 8 月 27 日午前中に、近隣のこどもたちが地域にいる人と一緒に自由に遊べる場所と機会を提供することを目的として前年度に引き続き開催。
- ・近隣の住宅へのポスティングと「URBAN PICNIC」のホームページにて広報を行う。
- ・当初目的とした小学生の参加は少なかったが、当日遊びに来ていた近隣の未就学児の参加が多かった。
- ・保護者からは、定期開催をしてほしいという声を直接聞ける機会となった。

(1 3) 「北野こくさい夏祭り」出店

- ・2015 年度より連携を強化し、神戸こども探険隊を実施した北野エリアにおいて地域とのつながりを深める一環として平成 28 年 8 月 27 日に実施された北野こくさい夏祭りに出店。
- ・子どもたちに向けた印象に残るブースづくりを目指し、ゲーム型ブースとして「ぴよんぴよんゲーム」を行った。
- ・当日は 259 人の子どもたちが参加して、多くの地域の子どもたちに楽しんでもらうことができた。

(1 4) 「北野ギャザリング」出店

- ・夏祭り同様、北野エリアの地域との連携強化、および同エリアで実施している神戸こども探険隊の広報の一環として平成 28 年 10 月 29 日に実施された北野ギャザリングに出店。
- ・新聞紙で作った魚を割り箸で作った釣り竿で魚釣りを行ったり、紙コップでロケットを作って飛ばしたりするブースを実施した。
- ・参加者は北野エリアの子どもたちが多く、神戸こども探険隊の広報を兼ねてピラ配りも同時に行った。小学校以下の子どもも多く参加したが、今後の北野エリアでの活動を実施する上で当法人の存在を知ってもらうことができた。

(1 5) 岡田こども会歓送迎会参加

- ・姫路市内の子どもたち約 100 名と体操をしたり遊んだりして交流するイベントに大学生スタッフと事務局が参加した。姫路市内で活動する複数の地域団体が主催。
- ・平成 28 年 3 月 26 日に、姫路にある手柄山遊園内のプールサイドにて実施。アシスト西宮北口校周辺の子どもたちとのつながりを創ることを目的に開催。
- ・今後アシストの他地域への展開を考えたいうでの繋がりづくりとして、姫路で教育、地域についての活動をしている人たちとの関係づくりができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数 (※スタッフの 数)	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金 額 (単位： 千円)

青少年に対する学習支援事業	「放課後学びスペースアシスト」以下4校の運営 ① 学園都市校 ② 甲子園校 ③ 摩耶校 ④ 六甲校 ⑤ 魚崎校	(A) 通年：学園都市・摩耶・六甲校週1回、甲子園校週2回 5～7月：魚崎校週2回 (B) 神戸市内・西宮市内 (C) ① 7名 ② 4名 ③ 3名 ④ 5名 ⑤ 4名	(D) 小・中・高校生 (E) ① 9名 ② 8名 ③ 1名 ④ 3名 ⑤ 3名	384,200円
	「夏休み自由研究イベント」	(A) 8月5日 (B) ららぽーと甲子園クリエート西宮 (C) 5名	(D) 小学生 (E) 15名	6,616円
	「神戸こども探険隊」	(A) 平成28年8月～平成29年3月 (B) 北野地域福祉センター (C) 8名	(D) 小学生 (E) 10名	398,938円
青少年に対する学習支援活動全般に携わるボランティアの育成事業	「新歓イベント」	(A) 11月19日 (B) 生田川公園、コミスタこうべ (C) 事務局2名、学生スタッフ延べ29名	(D) 大学生 (E) 延べ11名	15,211円
	「学び方ゼミ」	(A) 12月29日 (B) 王子公園まなびと事務所「まなびの樹」 (C) 2名	(D) 大学生 (E) 12名	3,132円
社会問題・国際問題について理解を深めるための大人を対象とした学習会事業	「広島平和学習」一泊二日のツアー形式で、原爆や被爆者、広島復興についての学習を行う。その他、宮島観光などを通じて日本の文化に触れてもらう。	(A) 7月30日～31日 (B) 広島県内 (C) 2名	(D) 大学生・社会人 (E) 9名	30,206円
	「教育について考える」ワークショップ（兵庫、大阪の教育系NPO法人が集まったワークショップ兼交流会）	(A) 3月5日 (B) カフェスロー大阪 (C) 8名	(D) 大学生・社会人 (E) 8名	5,000円

日本語非母語話者への日本語学習支援事業	「日本語教室だんらん」 以下3クラスの実施・運営とイベントの実施 ・上級クラス ・中級クラス ・初級クラス	(A) 通年・平成28年4月～9月 週1回、10月～平成29年3月 週2回 (B) 神戸市内 (C) 25名	(D) 日本に住む外国人 (E) 20名	20,484円
	「スポーツイベント Let's enjoy sports」 (外国人と日本の子どもたちが休み時間に行う遊びやスポーツを行うイベント)	(A) 6月11日 (B) コミスタ神戸 (C) 13名	(D) 日本に住む外国人 (E) 9名	6,514円
	「流しそうめんパーティー」 (だんらんに興味のある方と流しそうめんをして交流するイベント)	(A) 8月17日 (B) THE EMBER ROOM (C) 19名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 14名	26,680円
	「お月見パーティー」 (月見団子を作ってお月見を楽しむことを通じて日本文化に触れてもらうイベント)	(A) 9月15日 (B) THE EMBER ROOM (C) 16名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 16名	17,897円
	「国際交流パーティー」 (ゲームなどでだんらんの生徒とスタッフの親睦を深めるほか、新規生徒獲得のために行ったイベント)	(A) 10月17日 (B) THE EMBER ROOM (C) 26名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 24名	24,040円
	「ポットラックイベント」 (自国の文化を紹介できる料理をそれぞれ持ち寄り、異文化に触れながら交流するイベント)	(A) 11月26日 (B) 兵庫県福祉センター 2階 大会議室 (C) 14名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 8名	9,060円
	「お雑煮パーティー」 (お雑煮という日本の伝統的な料理を作って、日本文化に触れてもらうイベント)	(A) 12月21日 (B) こうべ市民福祉交流センター (C) 20名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 18名	12,088円
	「Mission in Kitano」 (教室内で話せてないスタッフと生徒がグループになって交流しながら諏訪山公園を目指してもらうイベント)	(A) 1月25日 (B) 北野地域福祉センター (C) 14名	(D) 日本に住む外国人 (E) 11名	0円
	「Japanese food party」 (ぶりの照り焼きと炊き込みご飯という和食を	(A) 2月18日 (B) こうべ市民福祉交流センター (C) 10名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 18名	19,748円

	作って日本文化に触れてもらうイベント)			
	「雛祭りイベント」 (ひな祭りをモチーフにしたゲームをしながらひな祭りについて知ってもらい、楽しむイベント)	(A) 3月3日 (B) コミスタ神戸 (C) 11名	(D) 日本に住む外国人と日本人 (E) 11名	2,720円
	「ピクニックイベント」 (屋外で一緒に食べたり、体を動かすゲームしたりすることを通して、生徒とスタッフの交流を図り、楽しむイベント)	(A) 3月18日 (B) みなとの森公園 (C) 9名	(D) 日本に住む外国人 (E) 9名	4,383円
	「芦屋大学講義」	(A) 10月～2月 (B) 芦屋大学 (C) 1名	(D) 芦屋大学に通う外国人 (E) 5名	31,820円
	「個別教室」	(A) 3月～ (B) 王子公園まなびと事務所「まなびの樹」、北野学童予定地 (C) 1名	(D) 外国人 (E) 1名	0円
地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業	「インフィオラータ」への出店 (子どもたちと新聞紙で様々な作品を作るブースを「新聞紙でアート・工作・おりがみを作ろう」というブース名で出店)	(A) 4月29日、30日 (B) ローソン神戸異人館 通店 駐車場 (C) 24名	(D) 小・中学生 (E) 130名	0円
	「東遊園地こども探険隊」 (大縄・水鉄砲・折り紙・シャボン玉といったレクリエーションをして子どもたちと楽しむイベント)	(A) 8月27日 (B) 東遊園地 (C) 5名	(D) 未就学児・小学生 (E) 20名	1,484円
	「北野こくさい夏祭り」への出店 (北野エリアの子どもたちに向けて「ぴよんぴよんゲーム」というゲーム型ブースを出店)	(A) 8月27日 (B) 神戸北野工房のまち (C) 25名	(D) 小・中学生 (E) 259名	27,067円

「北野ギャザリング」 (北野エリアのイベントに魚釣りゲームとロケットづくりを行うブースを出店)	(A) 10月29日 (B) ローソン神戸異人館通り店 (C) 14名	(D) 小・中学生 (E) 72名	4,537円
「節分イベント」 (恵方巻き作りと豆まきという節分に代表される日本の文化を外国人や子どもたちとともに楽しく経験してもらい、その中でまなびとについて知ってもらい、今後の活動の足場を強固にするために企画)	(A) 2月3日 (B) サンパル2階 神戸ソーシャルキャンパス (C) 11名	(D) 地域の子ども、日本人、外国人 (E) 34名	15,317円
「岡田こども会歓送迎会」 (姫路市の小学生たちと体操をしたり、レクリエーションをしたりしながら交流し、楽しむイベント)	(A) 3月26日 (B) 手柄山遊園 (C) 12名	(D) 姫路市の小学生 (E) 100名	8,000円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位: 千円)
実施なし			

3 運営体制の変化 (2016年3月31日時点)

2015年度後期より開始した2期制(4月～9月、10月～3月)によるプロジェクト運営を2016年度では年間を通して実施し、その運営方法を確立した。各期間において学生スタッフの中からプロジェクト毎にリーダーを擁立し、運営者としての育成を行った。さらにチャレンジ制として各プロジェクト内に役職を設け、スタッフが自主的に選んだ仕事に責任を持たせた。学生スタッフが自由にプロジェクト活動の活性化を考えることによりボトムアップを行い、モチベーションを維持できるようにした。

2016年度より、学生スタッフの中から希望者を募り、インターンとして団体運営の一端を担ってもらったこととなった。プロジェクト全体を統括するプロジェクトマネジメント、会計、広報、人材募集などの事務作業から今後の方針について考えることまで、継続的な運営のために必要な仕事を考えることで団体運営のあり方を学んだもらう機会を設けた。またリーダー、次期リーダー、インターンなど、今後中心メンバーになるスタッフを対象にメンター制度の導入を行った。メンターには当法人の立ち上げメンバー、スタッフOB、外部の社会人などが担い、学生スタッフがプロジェクト内で目指したい個人の目標設定と実現への道筋を一緒に考え、個々のスキルアップを通してプロジェクト全体の活性化を狙った。